

みなぎの通信



県立吉川高等学校 学校だより
令和5年度 第10号
2023年7月14日(金)発行
【ポーチュラカ】

地域クリーンアップ作戦

7月6日(木)、各クラスの美化委員、生徒会役員、有志生徒が3班に分かれ、日頃よく利用する学校周辺道路やコンビニエンスストア周辺のゴミ拾いを行いました。

うれしいことに、前回実施の3月に比べ、“収穫量”はずいぶんと少なめでした。

「美しく保たれているから、ますますポイ捨てができなくなる」。この好循環を維持していきたいものです。



大いに盛り上がり かつ 負傷者・体調不良者0 ～球技大会～

7月11日(火)、前期球技大会を実施しました。種目は男女バスケットボール、男女ドッジボール、モルックでした。

当日は早朝から兵庫県に熱中症警戒アラートが発表されていましたが、三木市の暑さ指数(WBGT)を注視しながら対策を講ずるとともに、生徒がON/OFFのメリハリを意識して活動した成果として、体調不良を訴える者は誰一人いませんでした。

バスケットボール優勝クラスvs教員のエキシビジョンマッチが行われた際、体育館“劇場”では、生徒と教員の関係性も含め、目には見えないはずの本校の素晴らしさのすべてが凝縮され、“可視化”されていました。



より良い学校にするために～生徒会役員立候補者立会演説会～

7月12日(水)、生徒会役員立候補者の立会演説会が行われました。本校生の実態として、中学校での生徒会本部役員経験者は皆無に近いことを踏まえると、1・2年生124名の中から会長以下14の役職すべてに自主立候補者が現れること自体、生徒の入学後の成長を如実(によじつ)に物語るものです。

それを裏付けるのが、立候補の動機です。「吉川高校をもっと良くしたい、もっと盛り上げたい、そのために〇〇したい」というのが基本であり柱ですが、同程度に「自分を成長させたい」「新しい自分になりたい」「苦手を克服したい」と立候補した生徒が半数近くいました。本校で小さな成功体験を積み重ねる中で少しずつ自信をつけ、「より望ましい自分づくりに挑戦したい」と思えるようになる。当人はもとより、本校にとっても喜ばしいことです。同日、投票が行われ、14名全員が信任されました。



役員のリーダーシップと一般生徒のパートナーシップの呼応が楽しみです。

👍 喜び 🎉 感動 🤝 分かち合って **50年!**
高 兵庫県立 **吉川高等学校**

〒673-1129
三木市吉川町渡瀬300-12
Tel 0794-73-0068

